



新潟県作業療法士会ニュース

朱鷺

No. 26

公益社団法人 新潟県作業療法士会
40周年記念事業のお知らせ公益社団法人 新潟県作業療法士会
副会長 石井 登

公益社団法人 新潟県作業療法士会は、来年、40周年を迎えます。

これまでの40年という道のり、その歩みを一步一步と進め、今日の(公社)新潟県作業療法士会を創ってくださった皆様と、それを支えてくださった皆様、諸団体に感謝を込めて、また、新たな一歩をより強く、大きく踏み出すため、40周年記念式典を開催します。

感謝と未来への一歩を、より多くの皆様と分かち合い、盛り上げていきたいと思っておりますので、多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

公益社団法人 新潟県作業療法士会 40周年記念式典

日時：2025年9月21日（日曜日）

場所：ANAクラウンプラザホテル新潟 3F 飛翔
〒950-8531 新潟県新潟市中央区万代5-11-20

40周年記念式典については、詳細が決まりましたら、改めて皆様にご案内させていただきます。

そして、40周年という節目を記念して、これまでの歩み、皆様と一緒に創ってきたものをまとめた「40周年記念誌」を発刊いたします！

記念誌では、これまでの歩み、そして、未来へつなげるメッセージを詰め込んで、新たな一歩を共に踏み出す皆様へお届けしていきたいと思っております。ぜひ、楽しみにお待ちしております。

施設紹介のページ



医療法人 恵生会 南浜病院

古寺 康人

当院は昭和30年に開設され、新潟県の民間精神科病院としては4番目に古く歴史ある病院で、新潟医療福祉大学の近隣に位置しています。精神科救急入院料病棟（スーパー救急病棟）、精神一般病棟、精神科地域包括ケア病棟があり、病床数は285床です。精神科地域包括ケア病棟は令和6年11月から運営し、新たなチャレンジを開始しました。

現在、作業療法科はOTR12名、OTA1名が在籍し、各病棟で行っている心理社会療法プログラムにも関わっており、多職種でのチームアプローチにも力を入れています。また、週に1回スタッフミーティングを実施し情報共有やリスク管理、患者のニーズをふまえた新たな視点での取り組みなどにつなげています。

「病院に関わる人すべての幸せを願う。」という病院理念のもと、更に地域のニーズに応え地域に開かれた病院となることを目指し、スタッフ一丸となって取り組んでいきます。



新潟西蒲メディカルセンター病院

長谷川 千佳

当院は「その人らしい生活の実現～予防から看取りまで地域貢献を目指して～」という指針のもと、一貫した包括的なリハビリを提供しています。リハビリテーション科医師を中心に、多職種と協力しながら、入院・通所・訪問と同敷地で働いているため、情報交換等シームレスな連携を目指しています。

入院リハビリでは、退院をゴールとするのではなく、入院直後から退院後の生活を見据え、身体機能の回復はもちろん、自宅での生活スタイルも踏まえて住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように支援します。

通所リハビリでは、ご利用者様の“できるようになりたいこと”を大事にしながら、持てる能力の発揮ができるように力を入れています。また、通所リハビリからの就労支援にも力を入れており、地域の介護予防にも参加しながら、茶の間等の情報をご利用者様に発信する活動も行っています。

訪問リハビリでは、退院後の在宅不安定期のサポートや目標に合わせたリハビリ、在宅療養上の困りごとに対する対応など個別性を重視しています。自宅での生活がより豊かになるよう、利用者様の希望を丁寧に伺いながら支援します。

私たちと一緒に作業療法を楽しみませんか!!



身近なもので作れる握力トレーニング道具のご紹介

介護老人保健施設サンクス米山 作業療法士 中嶋 未希

今回は、手軽に作れて効果的な握力トレーニング道具を二つご紹介します。どちらも簡単に作れるため、遊び感覚で取り入れることができます。

1. 風船と小麦粉で作るスクイーズボール

一つ目は、風船と小麦粉を使ったスクイーズボールです。風船の中に漏斗を使って小麦粉を入れるだけで簡単に作成できます。握った際の感触が楽しいため、遊び感覚でトレーニングができるのが特徴です。小麦粉の量を調整して、対象者の手の大きさに合わせてご活用ください。

2. 食器洗い用スポンジ

二つ目は、食器洗い用のスポンジを使ったトレーニング道具です。スポンジをハサミで切り、対象者の手に合う大きさに調整します。柔らかいものから固めのものまで様々なスポンジがあるので、対象者に合わせてお選びください。

3. 活用事例紹介

実際に当施設の利用者様を対象に、スクイーズボールを使用していただきました。手指の脱力があり、「上手くスプーンが握れない」、「自由に車椅子を操作したいが手が滑ってしまいできない」というお悩みの相談がありました。そのためスクイーズボールを作成し、握力トレーニングをしたところ、スプーンにスポンジハンドルを使用していたものの、以前より「握れるようになった」、「車椅子のハンドリムも握れるようになった」と話してくださり、握力の改善を図ることができました。

握力を鍛えることで対象者の日常生活動作の幅を広げる一助になるかもしれません。是非、ご活用ください。



今回紹介したトレーニング用具については、使用者の身体機能、生活環境、経済的な状況などを考慮し、担当療法士や医療相談員、ケアマネジャー、ご家族などと相談しながら参考にいただければ幸いです。

令和6年度

第4回理事会 議事録

日時：令和6年9月7日（土） 10：00～14：28

会場：新潟ユニゾンプラザ 小研修室3、

オンライン（Zoom）でのWeb開催併用

【出席者】会場：四方、石井、門脇、尾崎、村山、
山倉、青柳、片山、嶋倉、知名、
間宮、室橋、山中
(以上、理事13名)

Web：上杉、小山、斎藤、渋谷

(以上、理事4名)

二村 (以上、監事1名)

【欠席者】佐藤、吉井 (以上、理事2名)

水越 (以上、監事1名)

【報告事項】

1) 会長報告 (四方会長)

・6/30 生涯教育オリエンテーション+福利厚生オリエンテーション挨拶

・7/3 田中まさし参議院議員とのZoom集会

・7/6 第1回よんばち会議出席

→田中まさし参議院議員よりトリプル改定について報告、今後は5%の基本給アップが目標。

→会員の組織率低下、離職者増、養成校入学者減には所得の賃上げが必要。

→生涯教育の見直し進めている。

→能登半島地震に対する活動、対応についての報告あり。感謝の言葉も述べられた。

→5歳児検診に関する取り組みへの情報交換等。

・刑務所ケアプロ派遣、小学校訪問指導に同行。

・7/17 県福祉保健部と介護保険における住宅改修・福祉用具貸与の適正化事業への相談を受けた。

・7/25 養成校との情報交換会を実施。

・7/27 介護事業者連盟設立総会に出席。

・8/1 さいとう洋明議員政策フォーラム出席。

・8/27 田中まさし後援会 県対策会議実施。

2) 理事報告

○災害対策委員会 (斎藤理事)

・9/25 に大規模災害訓練を予定。全会員対象。方法は9月25日に協会からのメールが届いたら、会員より情報収集の協力依頼とGoogleフォームで回答を

得る予定。HP掲載とLINE配信での情報収集は9月25日、10月9日、10月22日を予定。

・災害発生時に県外でJRAT活動ができるよう県との協定を結ぶ準備中。

・10/5 「第27回リハビリテーション研究会」「第10回新潟県災害リハビリテーション研修会」10月19日「災害リハビリ入門編」「能登地震の活動報告」各研修会を予定。研修会開催後、予算執行率は95%程度となる予定。

○公開講座企画実行委員会 (斎藤理事)

・公開講座は11月9日にユニゾンプラザにて、山田阿実様から講演いただく予定。執行率43%程度。予算超過する見込み。

○現職者選択研修委員会 (上杉理事)

・10/20に現職者選択研修会を開催する。現在21名の申し込みがある。現時点で執行率0%。

○MTDLP委員会 (小山理事)

・基礎研修9月29日、フォローアップ (FU) 研修会10月21日を予定。事例検討会は11月17日、1月21日に行う予定。

・全国推進会議に参加。MTDLPの事例報告制度は運用がうまくいっていない為終了となり、新しいシステムに変更していく予定。

○福祉用具対策委員会 (小山理事)

・10/26に研修会を開催予定。重度化を予防しQOLを上げるための環境とケアについて。

・6/22に生活行為工夫情報事業の東部ブロック連絡会議に出席。

○在宅ケアを考える集い実行委員会 (小山理事)

・9/29 新潟県在宅医療推進フォーラム開催予定。テーマは「医療介護連携が織りなす地域包括ケア」。

○学会運営委員会 (門脇副会長)

・口述演題の申し込みが6件と少なく申し込み延長しているが新規申し込みなし。口述で3セッション設ける予定であったが2セッションに減らし、査読のハードルを下げた活動報告のセッションを新設する方向で調整中。学生会員向けの作文コンクールを企画している。各委員会のポスターも作成し、活動PRを行い委員の募集にもつなげていく。執行率15.5%。

○精神分野推進委員会 (門脇副会長)

- ・8/24 精神科OT見学交流会を開催した。参加者16名、他領域からの参加者もあった。

○刑務所ケアプログラム（門脇副会長）

- ・今後の動向として、プログラム内容や仕組みが変わる可能性がある。OTが提供できるものや、必要性を理解してもらえるかが課題。

○現職者共通研修委員会（知名理事）

- ・8/25 に第1回研修会を実施した。33名参加。研修会は大きなトラブルなく終了したが、手続きの面で公文書が1週間前に未発送の状態であった点を踏まえて、業務内容をチェックリスト化しエラーのないようにしていく。執行率は0.58%。

○臨床実習推進委員会（知名理事、間宮理事）

- ・9/14、15に臨床実習指導者講習会を開催。（会長）臨床実習指導者講習会の参加人数は何名か。

⇒申し込み時点で定員超過していた為、非会員、PT会員の方はお断りした。

⇒会員が参加できないことがないようにしたい。県内における臨床実習指導者の人数がそろってきたこともあり、（県内OTの6割程度が受講済み）次年度以降は定員減または隔年開催で考えている。

○事業部（村山副会長）

- ・OT協会地域事業支援援助会議に参加。各市町村に担当OTを1人ずつ配置し支部制、ブロック制を目指す。

○ブロック内事業（村山副会長）

- ・合同会議を開催。今年度も各ブロックで2回程度会議を開いていただくよう予算を組んでいる。

○ケア協議会（村山副会長）

- ・研修会、FU支援を行った。データをみながら意見交換を行うことで安心感が違ったと意見があった。

○地域共生社会推進委員会（青柳理事）

- ・茶の間派遣者中心にFU研修会（痛みに対しての対応と助言について）を実施。
- ・新潟市紫竹山の茶の間の茶の間が10月で閉鎖となる。既存の5カ所は次年度も継続する意向か要確認。要望として、市に茶の間の必要性などの意見をまとめて情報提供を行うことも検討。

○学術誌編集委員会（青柳理事）

- ・論文投稿状況について、査読が1件終了した状況。論文支援アドバイザー制度を利用して投稿された方

もおり、再査読を行う。

- ・県士会HPに「論文の書き方講座」の動画公開。

○フレイル対策二次予防事業等実施報告会（青柳理事）

- ・7/22に開催された「フレイル対策二次予防事業等実施報告会」に参加。

○新潟福祉まちづくり研究会（尾崎理事）

- ・県建築士会主催「新潟福祉まちづくり研究会」に参加。

○広報委員会（尾崎理事）

- ・LINE配信、朱鷺発行、高校生の職場見学を行った。
- ・高校生の職場見学は各所属にご理解をいただき、勤務時間内に受け入れた。これまで3回実施（みどり病院、新潟リハビリテーション病院、中央病院）。参加者は遠方から来られる方や親子で参加される方もあり啓発活動に繋がっている。今後、村上総合病院で2回開催を予定している。

○地域包括ケアシステム推進委員会（片山理事）

- ・10/20 研修会開催。「訪問による認知症リハビリテーションにおける実践プロトコル」について講義とグループワークを行う。来年1月に2回目の研修会を予定している。県の担当者や家族会の方にも参加していただく予定。

- ・OTが関わっている認知症関連活動の発信をする「オレンジ通信」を作成、HP、LINEで配信へ。

- ・OT協会に認知症関連の取り組みについての報告書を作成し提出済み。

- ・認知症の家族の集いへ委員の派遣を行った。上越地区と新潟地区に派遣予定。上越地区に、10月1名、11月2名の派遣が決定。「認知症ケア学会 北陸甲信越ブロック大会」にも参加し関係者や家族の方とのつながりを強めていく。

- ・執行率13%、研修会等を進め90%以上の見込み。

○スキルアップ研修委員会（石井副会長）

- ・研修会を4回企画。1回目は9月8日、定員20名のうち13名申し込み（うち無料対象10名）。2回目は定員50名のうち14名申し込み、申し込み期限延長。3回目は定員50名、講師からの提案でハイブリッド開催を予定。4回目はオンデマンド研修（Zoomでの動画配信）を予定している。

○40周年記念式典事業（石井副会長）

- ・式典まで残り1年。今後、概要や役割、スケジュール等打ち合わせを行っていく。

○リハ協議会実行委員会（石井副会長）

- ・人材育成をテーマに研修会を行う。4回予定のうち、2回目まで終了。1回目33名、2回目34名の参加。

○特別支援教育委員会（室橋理事）

- ・学校訪問3件実施。今後5件程予定。当初予算は7件のため、超過の見込みで財務と相談中。
- ・協会主催の5歳児検診へのOT参画に関する情報交換会へ参加。子ども家庭庁職員、協会職員、実際に5歳児検診を実施している市町村OTからの取り組み報告があった。今後、協会から各保健所に対してPR文を送付、県士会にも問い合わせがくるかも。協会は参画を促していく方針であり、F Uをしていく話があった。事例集の発行や研修も検討中。県内でOTが参加しているところは現在把握していない。OTがいない市町村での対応の検討が必要。
- ・事例検討を10月に実施予定。対面で開催。2回目は1月にWEBで実施する予定。

(会長) PT士会も校長会で事業説明を行ったが、有料であり依頼がない状態。5歳児検診は協会からも技術研修や知識研修を行うと思われるが、次年度、県士会でも育成に向けた研修会の開催可能か。

(室橋) 現時点で検診に関わったことがあるOTがおらず、協会の研修開催待ちか。現在依頼がきても対応できるOTがいない。

(会長) 療育教室等に関わってきたOTで、対応できそうなOTが5～6人いれば手探りでも対応して課題を持ち帰り、育成事業に繋げていければよいのではないか。

○障害福祉対策委員会（室橋理事）

- ・理事が委員長兼務。次年度見据えて会計係を選出。
- ・1月にセミナー開催予定。テーマはeスポーツ。

○選挙管理委員会（山中理事）

- ・役員改正と定款改定について7月18日に登記完了。
- ・執行率110.3%で今年度の事業は終了。

○総会議事運営委員会（山中理事）

- ・総会終了後、委員会議を実施し今年度事業は終了。執行率92.77%。次年度総会は令和7年6月15日（日）で開催。議案書の電子化、委任状のデジタル化に向けて今年度から準備を行っていく。

○福利厚生委員会（山中理事）

- ・6/30にオンラインサロンを開催。参加者7名。
- ・12/14 学会後に懇親会の開催を予定。40名程度を予定。講師の先生も3名参加予定。

○リハビリテーション専門職協議会事務局（山中理事）

- ・日本メルツより新潟市通所C事業への参加について相談あり。PTも含めて協議会を通して参加者を募ったが、契約内容の諸問題で、辞退者が多く9月からの教室参加者はPT5名、OT2名となった。
(会長) 専門職の派遣を含む事業計画を業者が提示して新潟市に受理されれば次年度以降は派遣でも対応できると思われる。

○生涯教育委員会（佐藤理事：欠席届より）

- ・新人オリエンテーションの開催等で執行率21.6%

○保険対策委員会（佐藤理事）

- ・県士会広報誌への寄稿を行った。

○ICTサポート委員会（渋谷理事）

- ・学会運営委員会、公開講座企画実行委員会からのサポート依頼を受け会議に参加。スキルアップ研修委員会、障害福祉対策委員会には講師または委員としてオンライン関係のサポートを行っている。

○倫理委員会（山倉理事）

- ・県学会で公演枠を設けている。講師は弁護士の小金澤先生に依頼している。
- ・かわら版として広報のチラシを作成する。ホームページ掲載とLINEで通知していく。

○表彰委員会（山倉理事）

- ・6月の総会で表彰式典を実施し終了した。次年度に向けて1月理事会で協議できるよう準備をすすめる。
- ・40周年記念式典での県知事表彰を予定している。

3) 事務局報告（山倉事務局長）

- ・文書発行の依頼が集中することがある為、いつまでに発行してほしいか目安を連絡してほしい。公文書を理事から提出する前に、内容に間違いがないか確認するようご協力をお願いしたい。

(二村) 公文書発行依頼についてのガイドラインがあったほうがよいのでは。

(山倉) マニュアル作成済みであるが、来年度に向けて記載内容を検討。

- ・学生会員に関する案内をホームページに掲載、養成校の先生方に協力を依頼した。

(養成校理事) 養成校では案内を始めているところ。

夏休みや実習期間でもあるため、時期をみて再度案内を行う予定。

- ・8/27に協会員でない会員6名に協会の入会依頼文書を発行した。
- ・10月に年会費未納者に対しての納入案内文を送る予定。現時点で100名程度未納者あり。

(村山) 協会は会費未納だと研修会の申し込みができないが、県士会でも同様のシステムにはしてはどうか。

(会長) 今年度の動向をみて対応を検討する。

4) 財務報告 (嶋倉理事)

- ・事務員給料手当、LINE手数料の振り込み、諸謝金や旅費交通費の振り込み、広報誌の印刷代や会場代等の振り込みを行った。その他、各委員会の予算修正作業や問い合わせ対応を行っている。現時点での追加の補正予算はなし。

- ・予算執行率 公益事業12%、法人会計38%。

(二村) 予算執行が超過する見通しの委員会は補正予算を早めに組む必要があると思われる。

(会長) 各委員会で補正を組むかどうかを財務と相談し流用で対応可能か計算し検討している。

【協議事項】

第1号議案：会員管理について (入会・退会・休会・復会)

入会者：11名 退会者：2名

正会員数：1059名 (内、休会28名)

⇒ 承認

第2号議案：メルマガ配信について

- ・今年度から送料の値上がりもあり、定期便を減便としたことで会員への情報配信・周知の機会が減っている。既存のLINE配信のほかに、次年度よりメルマガ配信の運用を検討中。また、ペーパーレス化等に向けて事務局が個人的に連絡をとるため(会費未納の連絡など)に会員個人のメールアドレスを県士会で把握したいという目的がある。
- ・配信は月1回、事務局が配信作業を行う予定。
- ・7月24日に湯浅氏よりメルマガ運用について情報を提供いただいた。

*MyASP (マイスピー) :

メール配信だけでなく、顧客管理など多機能。各委

員会で管理している情報も一括管理にできそう。ただ事務局が使いこなすには難しい。

*Blastmail (ブラストメール) :

メール配信が主機能。ターゲットを絞って送付も可能。作業が簡単。

(会長) 今まで通り定期便を郵送した場合と配信に変えた際の差額は?

(山中) メルマガ配信のほうが、郵送代より1/3~1/4程度の値段で運用できそう。情報を届ける手段を用意して会員に登録を促したい。

⇒ Blastmail (ブラストメール) 使用

⇒ 承認

第3号議案：臨床実習指導認定者一覧 県士会ホームページ掲載について

- ・県士会ホームページに臨床実習指導者講習会の修了者と認定者のリストを掲載しているが、非会員なども含まれていた。更新が必要か?

・修了者が増え、養成校も独自に確認をしていることからリストがなくても対応できている。

⇒ 「臨床実習指導認定者一覧」削除

⇒ 承認

第4号議案：令和7年度 新潟県作業療法士会事業計画 (骨子) について

学術部：収益をあげることが難しくなっているが、無料受講は継続する。(POS学会は対象外)。学会発表者を増やす取組みとして査読制度は残しつつ、査読を受けなくても発表できる機会を作っていく。ブロック毎の学会開催を目指す。

教育部：生涯学習システムを始動させる。協会のシステムとの整合性を図りながら進めていく。登録作業療法士制度を見据えた終了証の発行やホームページでの公開を行う。プリセプター制度による臨床力向上を目指す。

広報部：OT認知度アップに向けて高校生職場体験の継続やショート動画の作成やグッズの検討、フリーマーケットの実施などを行う。

学生会員向け事業として、学生向けの研修会の開催や実習前の「臨床家との対談・悩み相談会」の開催などを企画していきたい。会員向け事業として、個人アドレス登録時に人材

バンクに必要な情報収集を行う。ホームページのセキュリティ強化など。

事業部：ブロック毎の予算化（予算を組んで研修会、情報交換会などを開催し支部の活性化を図りたい）、ブロックごとに理事を配置。

法人会計：40周年記念式典事業（記念誌については早々に動き出す）、議案書の電子化・委任状のデジタル化、メルマガ配信・個人アドレスの登録促進

その他：業務執行理事会、三役会議を奇数月に実施する。

- ・派遣事業の人件費は今年度1件5000円であったが、来年度も同額の予定。
- ・研修会参加費を無料化にしているが、どのくらい利用されているのか。収支と見比べて、無料利用が多いようであれば回数制限等も必要ではないか。また、無料化したことによって参加者は増えたのか、振り返りが必要。

⇒ 骨子に基づいて来年度の事業計画・予算を作成する。12月10日までに提出。

第5号議案：長岡市長選挙推薦について

- ・現市長が再当選する確率が高いことを考え、今後働きかけが行いやすいよう推薦してもよいのではないか。PT士会は推薦状を送ったとの情報。
- ・自民党の推薦ではないが、新潟県リハ協議会の方針と齟齬がなければ推薦でよいのではないか。

⇒ 現職の磯田達伸氏を推薦

⇒ 承認

第6号議案：県士会ホームページ セキュリティアップデートについて

- ・2016年から県士会ホームページを運用しており、現時点では不具合は生じていないが、何かしらサイバー攻撃等があった時に脆弱な状態である。アップデートをすることでセキュリティは最新の状態になり、使用の安全性は増す。
- ・アップデートの実施方法として、プランA（現行のプランをセキュリティアップデート付きのプランに変更する、月2万円）とプランB（数年に1回の有償アップデートを依頼する、1回38万程度）の提案がある。費用対効果でみるとプランBのほうが安い。数年に1度アップデートでの対応で、安全性は保たれていくのではないかとの見立て。

（尾崎）県士会ホームページに個人情報や重要な情報がどれだけ含まれているかにもよるが、乗っ取られるとサイトにアクセスした人達に被害が及ぶことが考えられる。その際の対応も踏まえて検討する必要がある。

⇒ 数年に1回のプランBとする

⇒ 承認

※実施時期に関しては財務と調整、検討する。

第7号議案：その他（事務員給与について）

・10/1から新潟県の最低賃金が引き上げられることが正式に決定したことを受け、事務員の時給についても見直す必要がある。

・3名の時給を50円ずつ増額すること（酒井原さん1,010円、白井さん・堀口さん990円）を提案。計画予算額より2万円増額となるが、余裕をもって計上してある為、予算内には収まる予定

（会長）定期便の配送作業がなくなり仕事量は減ったのではないか。

（山倉）財務関係の仕事（出金伝票、明細書の管理等）を事務局で担う仕事量は変わらない。またメール対応の件数も増えており処理に時間を要している。

⇒ 事務員の時給を50円ずつ増額

⇒ 承認
以上

SAKAimed 急性期からの＊
ハンドセラピーを
 ＊お手伝いします。

＊ スプリント ＊

酒井医療株式会社
 新潟営業所
 Tel:025-278-4777
 www.sakaimed.co.jp

介護用品、レンタル・販売
 リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや
悠久堂医科器械店


本 社 TEL 0258-47-1848
 新潟営業所 TEL 025-284-6866

各種車椅子・座位保持装置・ベッド
 ・コミュニケーションエイド・福祉機器
 ・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B
 (オーエックス新越)

〒956-0017
 新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
 TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<https://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル
 ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号 

(株) 田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11
 TEL 025 281-0303
 FAX 025 281-0339

LUNA CAST
ルナキャスト[®]
 熱可塑性ギプス包帯

硬化後も再成形できる！
 手軽で便利な現場の味方

- 70℃以上のお湯で軟化し、素手で使用可能
- 硬化後の補強も簡単
- フィット性に優れている



やさい目で健康を見つめる...
イワツキ株式会社

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872
 新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号
 <TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018
 <E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.26 2024年11月28日発行

発行責任者：四 方 秀 人
 編集責任者：尾 崎 生
 発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部
 〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1
 総合リハビリテーションみどり病院
 印 刷：株式会社タカヨシ

ONLINE ISSN 2432-3624

The 19TH Niigata Occupational Therapy Congress

第 19 回新潟県作業療法学会



会期:2024年12月14日(土)※現地・一部オンデマンド配信

会場:新潟ユニゾンプラザ

主催 公益社団法人 新潟県作業療法士会

後援 新潟県/新潟市/一般社団法人新潟県医師会/一般社団法人新潟市医師会

公益社団法人新潟県理学療法士会/一般社団法人新潟県言語聴覚士会

公益社団法人新潟県栄養士会/公益社団法人新潟県薬剤師会

一般社団法人新潟県歯科衛生士会(順不同)